

カジノより

くらしの安心・希望 ある大阪へ

日本共産党



清水 信行

府政対策委員長

私心なく、働く者・弱者の立場で頑張る信念の人

私は、40年間ダイキン工業で技術者として働くとともに、労働者の利益を守るために、揺るがずたたかってきました。非正規雇用の拡大、消費税の増税などまじめに頑張る労働者や中小企業を苦しめる安倍政治のもと、ギャンブルである「カジノ」に多額の税金を投入する維新政治は許せません。身を削る改革といながら、我が身の利益のために、政党を出たり入ったりの政治家に大阪府政をまかすことはできません。「カジノよりくらし・防災」「高すぎる国民健康保険料の値上げやめよ」「チャレンジテストをやめて少人数学級を」「森友疑惑の徹底究明を」と摂津のみなさんの声を府政に届け活かします。ご支援をよろしくお願い申し上げます。

いっしょにやっ

略歴

- 1947年滋賀県長浜市で生まれる
- 京都大学大学院工学部卒業後、ダイキン工業淀川製作所に勤務。冷凍機的设计に従事
- 上一津屋自治会長を歴任
- 2016年摂津明るい民主府・市政をつくる会推薦で摂津市長選挙に出馬。

府民の命とくらし第一の大阪へ全力

高すぎる国保料を下げ、子ども医療費助成を拡充

- 府による市町村への値上げ押しつけやめさせ、国の1兆円の公費負担増で、サラリーマン健保並みに引き下げる
- 18歳まで拡充した摂津市の子ども医療費助成を府制度として実施し、窓口無料化と入院時食事代補助の復活を
- 特養と保育所の待機者解消、介護士・保育士の待遇改善

子育ての安心、教育の充実

- 35人以下学級の拡充、教職員の多忙化解消
- 就学援助の半額補助で、すべての子どもに学校給食を
- 異常な競争教育を改め、どの子も伸びる希望ある教育を

災害に強い街づくり

- 地震・台風の被災者支援の拡充
- 河川の氾濫対策の抜本強化、減災・防災、生活密着型の公共事業

働く人のフトコロあため、中小企業対策を経済対策の中心に

- 中小企業を支援し最低賃金今すぐ千円以上に。ブラック企業根絶条例制定
- 販路拡大や技術改革、後継者不足解消に注力

- 府道大阪高槻線、正雀一津屋線など歩道の設置、拡幅整備を
- 安威川やその支川の堆積土砂の浚渫、堤防強化、公共下水道整備支援など総合的な治水対策を

ムダな大型開発やめれば 財源はある

梅田駅～関空駅間わずか10分短縮するだけのなにわ筋線に590億円、自動車専用道路淀川左岸線延伸部に300億円などの府費投入をやめれば、財源はあります。

日本共産党 摂津市委員会は以上の政策を発表しました。

摂津民報

2019年3月号
No.1239

発行：日本共産党 摂津市委員会 摂津市香露園26-28
TEL 072-638-4252 FAX 072-638-4251